

大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 生活環境課 ☎24-5231

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m³あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)		
		11/29-12/6	12/6-13	
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.061	0.077
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.016	0.025
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.015	0.017
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.023	0.017
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.027	0.046
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.042	0.027
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.040	0.046
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.034	0.030

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)		
		11/29-12/6	12/6-13	
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.025	0.038
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	0.018

検出限界値はおおむね0.02～0.03mBq/m³の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

渡邊正己京都大学名誉教授
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説

第75回目
大気浮遊じん放射能測定結果の解説
(平成29年11月29日～平成29年12月13日)

平成29年11月29日～12月13日の間の大気浮遊じん中には、セシウム134は全く観測されず、セシウム137はいずれの測定地点でも0.1mBq/m³を大きく下回り、平均0.031mBq/m³と低い値でした。最近の1年間の大気浮遊じん放射能は、この程度の低い値で推移しており健康影響を心配することはありません。